

夏の景

谷垣満壽子

風清^{さわ}か立夏の空に雲一つ

馬車は行くアカシアの香に包まれて

青空に振られ落ちくる柿の花

全山の葉裏を返す青嵐

剥き終へて蚕豆^{そらまめ}のかさ少なかり

朝曇ゆつくりふふむ緑茶かな

銀^{しろがね}の軌跡残して蝸牛

地の湿り少し移りて竹落葉

百日紅咲く新築を祝ふかに

情熱の証しの如くカナナ燃ゆ